黄金の歴史をひもとく

生涯学習講座「佐渡島金山を学ぶ」

《2026年》11/12

２０２４年に世界文化遺産に登録された「佐渡島の金山」について学ぶ講座が社会福祉センターで開かれ、５月に現地を訪問した笠原邦夫さんが写真を交えて歴史などを紹介しました。

世界文化遺産となった理由の一つを笠原さんは「鎖国で海外との交流が制限されていた中、機械に頼らない伝統的手工業で金を生産していたこと」と解説しました。



歴史などをわかりやすく解説した笠原さん

多彩な芸能が集結！

総合文化祭芸能発表会

《2026年》11/8

白糠町文化協会（見鳥幸藏会長）と白糠町教育委員会が主催する総合文化祭芸能発表会が社会福祉センターで開催され、当日は７団体が出演し、舞踊やコーラスなど、日頃の練習で磨いた演目を披露しました。

出演者それぞれの個性が光る発表に、会場からは温かい拍手が送られ、約90人の来場者がステージを楽しみました。



舞踊「雪月花」を披露する出演者

白糠の海にも眠るエネルギー

環境講演会

《2026年》11/12

海洋資源研究の第一線で活躍している東京海洋大学の青山千春准教授を講師として迎えた環境講演会が、白糠高校で開かれました。

講演会では、青山准教授が日本の周辺海域に存在する海洋資源と、次世代のエネルギー源として注目される「メタンハイドレート」について、研究成果や映像を交えながら解説しました。



ボードゲームで楽しく学んだ出前授業



メタンハイドレートの燃焼実験を行う青山准教授（右）

講演後は理科室で燃焼実験が行なわれ、「燃える氷」とも呼ばれるメタンハイドレートが実際に燃焼する様子を観察しました。

講演会終了後とその翌日には、町内の小中学校と義務教育学校で出前授業が行われ、燃焼実験や青山准教授が監修したボードゲームを活用した授業が行われました。

参加した児童生徒にとっては、白糠近海にも眠ると言われる海洋資源の可能性を知るとともに、エネルギーの安定供給や資源の有効活用について考える機会となりました。